

斯業ノ設備改善、操業ノ合理化ニ對スル熱度ハ頗ル強イノデアルツテ
現在、實效三割六分四厘ト目セラル高率操短フ爲セルニ拘ハラズ一
方ニ於テ増セル現象ハ、新設備、新操作ニヨル工場ノ出現ニ外ナ
ラヌノデアル、

コノ態度ニヨツテヨク今日ノ市場ノ開拓フナシ得タ譯デアルガ、就
業労働者數ハ漸次ニ節約サレ、又將來サレントスル傾向ニアル
昭和八年一月ヨリ操短フ「各社ハ一ヶ月四晝夜休業一晝夜十七時間
操業フ基準トシニ制ノ休錘フナス」ト取極メ實效、五分八厘ノ緩和
フ計ルコト、ナツタ
之ニヨツテ一層生産量フ增加スルコト、ナルガ、之ニヨル職工數ノ
增加フ算出スレバ、紡績ニ於テ一二〇〇人織機（織布フ行フモノト
シテ）二七〇人デ來年度ハ、此方面ニ於テ差シ詰メ最底一五〇〇人
位、就業スルノ余地ガアル
新工場増設サル、場合ハ、更ニ增加サル、モノデアルガ、斯業ノ全

体的景況ガ之フ左右スル根本的要因デアルガ、紡績八人組トコトナ
リ、原棉フ輸入ニ仰グ結果、爲替安ノ結果、樹高ナル原料フ使用セ
ナケレバナラス、而シナ之ニ應ジテ綿糸價フ釣上ゲレバ支那方面ヨ
リノ外糸ノ輸入フミルノ脅威フ受クルカラ、大觀シテ紡績業ハ次年
度ハ今年程ノ收益率フ舉ゲ得ザル状勢ニ在リサレテ居ル從ツテ勞
働者數ノ增加モ決シテ大ナルモノトハ考ヘラヌノデアル

曰綿糸加工品其他業

紡績人組ニ追隨シア之等ノ加工業モ好況ノ圈内ニ在ル 加工業フ
代表スルモノハ、莫大小製造業デアリ、其他フ代表スルモノハ、
染色業デアル、

莫大小ノ輸出ハ本年十一月マダニ於テ一千三百三十五万打ア、前
年ニ比シテ既ニ三百三十五万打ノ增加フ見テ居リ、金額ニ於テ單
價ハ上半年ニ於テ、前年ト略全様デアルニ拘ハラズ五百五千万圓